



JAPAN SDGs Action Platform

取組事例

> 日本リユースシステム株式会社



日本リユースシステム株式会社 The Golden Country-ZIPANG

SDGs

■日本リユースシステムの取り組むSDGs

○古着deワクチン 徳得事業

古着deワクチンは、一般家庭や企業・団体に係る「捨てるのは忍びない」衣類や服飾雑貨のお片づけやリユースを通して、開発途上国での雇用創出や、世界の子どもの福祉などに貢献するサステナブルな事業(サービス)です。
2019年には、持続可能なビジネスモデルと長年の社会貢献が評価され、「第3回ジャパンSDGsアワード」にて特別賞(SDGs/パートナーシップ賞)を受賞しました。

古着deワクチンは、ポリオで苦しむ子どもが1人もいなくなる世界を目指しています。国内外にわたるこの取り組み全体で、直近では累計500万人分のワクチン寄付を目標に、様々なパートナーと連携してまいります。

○お針子事業

様々な理由により、日本での行き場をなくし廃棄される着物や帯を、サーキュラーエコノミー(循環型経済)の視点から価値や形、用途を変え、国内外でアパレルやハンドメイド用の生地素材(商品名: Kimono Upcycle Cloth「ohariko」)として活かすアップサイクル事業です。2020年には、弊社が社員に行うSDGs教育や、お針子事業を通して廃棄物の減少や温室効果ガスの削減につながり、SDGsの達成に貢献している点が評価され、「環境入づくり企業大賞2019」で環境大臣賞(最優秀賞)を受賞しました。

矢野経済研究所の調査によると、日本には約8億点もの着物や帯が残っているとされています。お針子事業の取り組みにより、これらの着物や帯を再び活かし、形や価値を変え日本の優れた文化や技術を海外へ、そして未来へ伝えてまいります。